



Polaris news

【北高新聞 NO.202416】

アメリカからの留学生帰国 (2024.12.23)

アメリカから本校に留学に来ていた Felix 君が、4か月の留学を終えました。普通コースのクラスに入り、広島への修学旅行へも一緒に行き、部活動もバレー部で積極的に活動しました。4か月という短い期間でしたが、多くの友達に囲まれて楽しい時を過ごすことができました。



【Felix から】

まず最初に、私の日本への旅をかのうにしてくださった全ての人々にかんしゃしたいと思います。名古屋北高校の先生のみなさん、そして何よりも私を受け入れてくださったホストファミリーの家族です。受けた助けのおかげで、私は日本の言語と文化を学ぶことに集中することができました。この四ヶ月間、KUMON の学習材料や人と話すことのおかげで、私の日本語コミュニケーションはかなり上手くなりました。また、日本とアメリカの文化の違いについてもより深く理解することができました。日本の公共交通機関はアメリカよりとてもいいです、車を使わずに多くの場所に行くことができるのがうれしかったです。学校で制服を着るのも大きな違いです。アメリカの高校では、ほとんど何でも好きな服を着ることができます。制服がある学校は、制服がない学校よりもフォーマルで平等だと思います。日本の先生はアメリカよりも生徒から尊敬されています。学校の外で、いろいろ興味深いところに行きました。私のホストファミリーは、名古屋、奈良、京都の美しく、れきしてきな場所への旅行をたくさん計画してくれました。また、修学旅行でクラスメイトと広島に行きました。そこで、平和記念公園と資料館を見学しました。原爆について日本人の視点から話を聞き展示物を見ることは、考えさせられる体験でした。日本で、友だちを作ることは私の一番大切なことでした。毎日、学校に行って勉強し、バレーボール部に参加することで、たくさん友だちができました。その友だちと部活の後や週末にいっしょにキャッチボールをしたりラーメンを食べに行きました。みんなとはしょうらいも連絡を取り合いたいです。日本に来たのは二度目ですが、今回の滞在は全く違うと思いました。唯一無二の滞在でした。それは主に、素晴らしいホストファミリーのおかげです。私に名古屋や日本について学ぶ経験を与えてくださいました。YFU Japan、北高校、そして、滞在中にできた全ての友だち、私を受け入れてくださってありがとうございます。